

Excelでの予算管理に限界、「Workday Adaptive Planning」をベースに業務に合った予実管理の自社運用を実現

背景と課題:分譲マンションの供給増加に伴い、Excelを用いた予実管理が限界に

野村不動産は、「住まい」「オフィス」「商業施設・ホテル」「物流施設」「企業向け不動産サービス」といった幅広いフィールドで事業を展開する総合不動産会社である。中でも主軸となっているビジネスの一つが住宅事業で、グループ力を活かし、用地取得から販売・管理までを行う「製・販・管」一貫体制を強みに、マンションや戸建住宅、再開発といった開発・分譲事業を推進。同社を代表するマンションブランドである「PROUD」をはじめ、郊外型マンションの「OHANA」、一戸建ての「PROUD SEASON」など、多彩な住まいを提供している。

そうした野村不動産の住宅事業本部において課題として浮上していたのが、これまでExcelで行われていた、予実管理の効率化だった。住宅事業本部 業務部 業務二課長 竹中 洋介氏は、「分譲マンションでは、土地の仕入れから着工、販売、契約、竣工、引き渡しまでの長期間にわたって予実管理を行う必要があります。加えて、マンション1棟あたり100戸あれば1住戸ごとに販売価格や契約情報、1棟全体での工事費や販管費など、多岐にわたる項目を管理しなければなりません。しかし、供給戸数の増加とともに、Excelを用いた予実管理が限界に達し、さまざまな問題が生じていたのです」と振り返る。

その1つが、決算や年に数回行われる予算の見直し、および月次や週次の定例報告に必要な予実レポートを作成するための集計に手がかかりはじめたことだ。従来、マスターとなるExcelシートと管理項目を入力した複数のシートをリンク機能で連動させて集計を行っていた。しかし、物件数や管理項目が増えたことでリンクも複雑化、集計に要する時間が増加していたという。また、1つのExcelファイルを複数の担当者で利用していたため、待ち時間の発生や入力内容が反映されていないといった問題が発生していたほか、上書き保存を行うことで、ファイル破損が生じたこともあったという。

「月次や週次の報告では、前月、前週から各項目の数値にどのような変動が生じたのか比較が必要なため、Excelファイルは更新されるたびに別名で保存されており、その履歴管理も煩雑化していました」と竹中氏は続ける。

このほかにも、計画の策定上の根拠をそれぞれの担当者が個別にExcelの数式に反映させる必要があり、より均質的な計画策定と、そのために必要な情報を容易に収集できる仕組みが求められていた。

導入前の課題

- Excelを用いた予実管理業務を効率化し、担当者の負担を削減したい
- 更新履歴に基づく特定の時点での予実比較を、より正確に行いたい
- 画面改修などに際してSIベンダー依存しない、自社内で完結した運用を実現したい



あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ
野村不動産

企業概要

野村不動産株式会社

設立:1957年

本所所在地:〒163-0566 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

事業内容:マンション分譲事業、戸建分譲事業、法人仲介事業、投資・開発事業、ビルディング事業、建築・設計事業、資産運用事業など

企業URL

<https://www.nomura-re.co.jp/>

Workday 製品

- Workday Adaptive Planning

※2020年12月取材当時の情報です

導入効果

- 履歴に基づく管理や集計が簡単にできるようになり、担当者の集計作業の負荷を約7割削減
- Workday Adaptive Planningの容易な操作性でベンダーに依存しない運用体制の確立
- Workday パートナーのイベントのサポートによりWorkday Adaptive Planningの改修によって、更新履歴に基づく予実比較をより正確な数値で実現

Workday Adaptive Planning とイベントを選定した決め手

- クラウド型予算実績管理システム「Workday Adaptive Planning」が課題解決に向けて最適なソリューションだった
- 一般的な予算管理システムでは要件を満たすことが難しいが、要望を最大限汲み取り、現実に沿った提案だった
- Workday Adaptive Planningに関するイベントの豊富な実績と知見から導入に踏み切った

採用のポイント：パートナーにイベント社を選択、Workday Adaptive Planningを応用し、最適な予実管理システムの構築へ

これらの課題解決に向けて、野村不動産が選択したソリューションが、クラウド型予算実績管理システム「Workday Adaptive Planning」である。Webブラウザ画面からの入力やExcelを用いて取り込んだ各種データをクラウド上で一元管理、自動集計ができるほか、複雑なプログラミング技術が必要とせず、多彩なデータ参照や分析、レポート作成や変更を容易に行える。

そして、Workday Adaptive Planningの導入で野村不動産をパートナーとして支えたのがイベントである。

竹中氏は、「当社は、前月や前週の実績の比較検証を行うため、期間を軸とした分析だけでなく、履歴に基づく分析や集計できる仕組みが必要でした。したがって、当初は一般的な予実管理システムでは要件を満たすのは難しいと考えていました。しかし、こちらの要望をイベントにありのままに伝えたところ、『Workday Adaptive Planningの機能を応用することで、対応できそうだ』との提案によって導入に踏み切りました」と語る。

AVANT		AVANT Demo シート / 損益計算書 (P/L) : 標準												実行予算		
AVANT		AVANT Demo シート / 損益計算書 (P/L) : 標準												実行予算		
番号	科目	会計年度 2019	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	会計年度...	会計年度...
1	4000 売上高															
2	4100 製造品売上高															
3	4110 製品売上グループA	238,259,772	21,911.6	23,180.8	29,916.9	24,809.8	27,187.1	30,394.6	25,263.5	27,694.5	30,896.0	25,771.0	28,104.0	31,391.5	326,601.1	332,533.1
4	4120 製品売上グループB	108,268,121	10,444.3	10,981.3	12,242.4	12,049.6	12,965.8	12,373.2	12,332.1	13,282.8	12,842.0	12,655.9	13,558.4	13,165.8	149,094.1	152,064.1
5	4130 製品売上グループC	91,785,917	10,844.0	10,899.8	12,768.4	12,774.0	12,966.9	13,159.6	13,352.4	13,586.5	13,966.5	14,200.7	14,338.4	14,600.0	157,457.1	160,589.1
6	合計	438,313,810	43,200.0	45,062.0	54,927.8	49,633.5	53,119.9	56,127.5	50,948.2	54,564.0	57,704.5	52,627.8	56,081.0	59,157.5	633,154.1	645,187.1
7	4200 サービス売上高															
8	4210 サービス売上-既存	30,702,210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	合計	30,702,210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	合計	469,016,020	43,200.0	45,062.0	54,927.8	49,633.5	53,119.9	56,127.5	50,948.2	54,564.0	57,704.5	52,627.8	56,081.0	59,157.5	633,154.1	645,187.1
25	5500 売上原価															
26	5510 仕入原価															
27	5511 固定費	208,502,802	23,339.5	24,793.9	25,913.7	23,686.7	25,366.6	26,494.1	24,298.0	26,040.1	27,208.3	25,057.8	26,729.4	27,883.8	306,812.1	306,349.1
28	5512 変動費	4,658,079	432,842	451,470	550,307	497,283	532,201	562,326	510,453	546,668	578,124	527,276	561,863	592,678	6,343,488	6,464,029
29	合計	213,160,881	23,772.3	25,245.4	26,464.0	24,184.0	25,898.8	27,056.5	24,808.4	26,586.8	27,786.4	25,585.1	27,291.3	28,476.5	313,155.1	313,013.1
33	合計	213,160,881	23,772.3	25,245.4	26,464.0	24,184.0	25,898.8	27,056.5	24,808.4	26,586.8	27,786.4	25,585.1	27,291.3	28,476.5	313,155.1	313,013.1
34																
35	貢献利益	255,855,139	19,427.6	19,816.6	28,463.8	25,449.5	27,221.0	29,070.9	26,139.7	27,977.2	29,918.1	27,042.6	28,789.7	30,681.0	319,998.1	332,174.1
36	貢献利益率%	54.6%	45.0%	44.0%	51.8%	51.3%	51.2%	51.8%	51.3%	51.3%	51.8%	51.4%	51.3%	51.9%	50.3%	51.5%
37																
38	6000 販売管理費															
39	6100 人事給与															
40	6110 給与	34,878,186	4,192,200	4,277,545	4,779,958	4,704,216	5,286,681	5,286,681	5,286,681	5,286,681	5,286,681	5,286,681	5,286,681	5,286,681	60,247.3	64,867.5
41	6120 コミッション	25,114,513	1,512,900	1,558,707	1,810,719	1,788,420	2,073,780	2,276,100	2,276,100	2,073,780	1,770,300	1,770,300	1,770,300	22,957.5	24,581.8	
42	6130 賞与	1,450,013	103,680	103,680	103,680	106,790	106,790	106,790	106,790	106,790	106,790	106,790	106,790	106,790	1,222,154	1,310,218
43	合計	61,451,711	5,808,780	5,939,932	6,694,357	6,599,426	7,467,251	7,669,571	7,669,571	7,669,571	7,669,571	7,669,571	7,669,571	7,669,571	84,477.0	90,759.7
44	6200 法定福利費															
45	6210 医療保険	2,118,733	122,065	122,065	149,239	149,239	176,413	176,413	176,413	176,413	176,413	176,413	176,413	176,413	1,933,913	2,116,957
46	6220 退職金	1,614,205	314,415	320,816	358,497	352,816	396,501	396,501	396,501	396,501	396,501	396,501	396,501	396,501	4,518,553	4,865,068
47	6230 法定福利費	5,316,986	639,076	652,086	728,678	717,132	805,925	805,925	805,925	805,925	805,925	805,925	805,925	805,925	9,184,377	9,888,703
48	6240 採用活動費	3,367,440	0	891,000	972,000	1,084,590	0	0	0	0	0	0	0	0	2,947,590	0

導入効果と今後の展望:集計作業にかかる負担を約7割削減、画面などの改修も自社内で運用

Workday Adaptive Planningを活用した予実管理システムは2018年の秋より本番稼働を開始し、さまざまな効果をもたらしている。

竹中氏は、「課題として掲げていた履歴に基づく管理や集計が簡単に行えるようになり、月次や週次の定例報告や決算、予算の見直しにおける予実レポート作成に要していた集計時間も7割ほど削減することができました。その結果、より精緻な予実分析を行ったり、経営部門からの『過去のある時点の実績を比較した資料が欲しい』などのスポットでの依頼にも応えたりできる余力が生まれています」と、導入効果を語る。また、前回変更した箇所との差分の確認も容易になったため、数値に対する認識の齟齬が解消されたほか、予実管理業務の精度も向上しているという。

「また、予実管理が正確でスムーズに行われ、常に正しい数値や情報を入手できるようになったことで、実情に沿った計画の策定も実現できるようになりました」(竹中氏)

Workday Adaptive Planningの操作画面も分かりやすいため、担当者のスキルに左右されないスムーズな運用が行われており、異動してきたばかりのスタッフもすぐに業務に従事できるようになっている。このほかにも竹中氏は、ノンプログラムで画面変更などの対応が行えるため、簡単なシート追加や項目追加などの改修であればベンダーに依頼することなく、自社で運用を完結できる点も評価ポイントとして掲げている。

アバントのサポートのもと、Workday Adaptive Planningを導入し、これまで抱えていた数々の課題を一挙に解消した野村不動産。最後に竹中氏は、「Workday Adaptive Planningの運用開始後、特に大きなトラブルもなく安定稼働を続けており、とても満足しています。今後もアバント社には、さらなる業務改善につながるソリューションの提案を期待しています」と語った。

-取材にご対応いただいた方-

野村不動産株式会社 住宅事業本部 業務部 業務二課長 竹中 洋介氏

※取材年月 2020年12月

※文中に記載されている数値など情報は、いずれも取材時点のものです。

導入パートナー

株式会社アバント

設立:2013年10月1日(創業:1997年5月26日)

※2022年10月1日株式会社ディーバから商号変更

本所所在地:〒108-6113 東京都港区港南二丁目15番2号品川インターシティ B棟13階

事業内容:グループ経営管理、連結会計、事業管理システムの導入、販売など

企業URL: <https://www.avantcorp.com/>



ワークデイ 株式会社 | contact.japan@workday.com | www.workday.com/ja-jp

© 2023 Workday, Inc. All rights reserved. WorkdayおよびWorkdayのロゴはWorkday, Inc.の登録商標です。その他のすべてのブランドおよび品名は、それぞれの所有の商標または登録商標です。ブランドおよび品名は、それぞれの所有の商標または登録商標です。